

平成 29 年 1 月 19 日

## 1 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は好天が続き順調、入荷も平年並み。荷動きは先月以降製品の品薄状態が表面化し、製材工場の旺盛な丸太手当により好調な引合い続く。スギは柱材の引合いが特に強く、中目材は落ち着いた動き。ヒノキは柱材・土台材ともに引合い強い。年末にかけて急騰したスギ柱材は、年明け後も高値が続く。スギ、ヒノキとも柱材は高止まり、中目材は保合。スギ柱材の初市は、高値が 16,000 円超えの状況。

群馬の製材工場は 1 月の受注が好調で、原木も潤沢なため順調に稼働。原木は 1 月中旬以降減少の見込み。製品販売は年末まで順調に推移し、年明け後も例年より比較的良好な状況。受注先は大半がプレカットで、地場の小売、工務店、市場からは少なく、プレカット主導の需要がますます鮮明化。製品在庫は全アイテムが品薄状態で、特にスギ・ヒノキ柱、母屋・桁・貫は極めて品薄。価格は全般的に低位安定状態続く。

### 2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、米国内工場の越冬在庫確保のため原木価格が上昇気配ながら、12 月中は価格の大きな動きはなし。産地港頭在庫は越冬在庫の影響で小径木を中心に需給が締まる方向だが、現状ではまだ逼迫感はない。ウェアハウザー社の 1 月積み対日米マツ価格は、前月積比一律据置き。11 月の米材丸太の入荷量は 211 千 $m^3$ と減速、1-11 月累計では前年同期比 12%増のペース。出荷量は 216 千 $m^3$ で同累計では 7%増。在庫量は 266 千 $m^3$ で前月比 5 千 $m^3$ 減。日本国内の大手米材工場は住宅着工好調を受け順調な稼働。米加針葉樹製材品協定失効後、カナダ製材品の米国へのダンピング販売に対する裁決は 5 月に出る見込みで、提訴が認められた場合は 2 月に遡り課税されることになる模様。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)12 月の入荷量は 28 千 $m^3$ (前月比 24.4%増)、出荷量は 28 千 $m^3$ (同 2.5%減)。在庫量は 46 千 $m^3$ (同 0.2%減)。11 月の米国住宅着工は、年率 109 万戸で前月比 18.7%減。ランダムレングス紙の 12 月下 15 種木材価格平均は、\$ 359/M で 11 月末比 2.5%増。現地価格は引続き対日向けに注文が入っており、大手サプライヤーは強含み感。1 月は稼働日数が少なく、プレ

カットを中心に各社とも例年より忙しい状況だが、2月以降は仕事が不透明な状況。

### 3. 南洋材

サバは1月下旬の旧正月を控え伐採、製材とも増産体制に入っているが、旧正月明けは例年通り3月辺りまで徐々に減少。製材品は原木不足で強含みは必至。サラワクはサバ同様に雨期や伐採規制で原木出材が少ない上に、今後の休みシーズンを控え原木価格は強含みの展開。PNG ソロモンは降雨で出材悪いが、インドや中国からの引合いは変わらず。丸太の入荷・出荷は減少、在庫も減少。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも平年並み。製材品の今後の相場展開は急激な円安や現地高を受け、集成材・製材品ともに強含み。動きは当用買いで変わらず。

### 4. 北洋材

シベリア地域はマイナス40°Cの寒波で一部地域が搬出遅れ。輸入製品は中国、日本の購買意欲高く原料価格が高止まり。丸太価格はエゾマツ・カラマツ \$130、アカマツ \$163 でいずれも保合。製材品は現地挽き上級グレードが円安で円貨では強含み、国内挽きは保合。アカマツ原板は \$360 で保合。荷動きは現地挽き3,0cm×4.0cm 上級グレード堅調、マンション不調で3m タルキは鈍い。国内完成品は良質グレード・胴縁・貫とも堅調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、稼働は若干減産、11月の原材料調達状況は丸太が通常量、原板は端境期で入荷少ないが1月から回復。上級材・特殊材の受注多いが対応難しい。

### 5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調で価格は横這い継続。ロシア材は日本向け出材、成約とも少ないが価格は上昇。米材は国内向け、日本向け、他国向けとも好調で、玉の確保が難しく価格は強め。南洋材は引続き高値張り付きのまま推移。11月の国内合板総生産量26.5万m<sup>3</sup>のうち、針葉樹合板は26.1万m<sup>3</sup>と引続き高水準をキープ。出荷量も25.2万m<sup>3</sup>と過去最高レベルを継続。在庫量は更に減って8.8万m<sup>3</sup>、うち構造用合板は7.8万m<sup>3</sup>まで減少し低水準が続く。国産針葉樹合板の1月販売価格は12mmが30円、厚物で50円の値上げを打ち出す。需要が旺盛で玉確保が優先される中、メーカー打出し価格はすんなり通る見通し。

国産針葉樹合板は年末年始にかけて品薄感が一層強まる。プレカット各社の稼働率がピークに達している中、ルートへの供給は更に厳しく、問屋各社とも入荷即完売で暫く在庫が無い状況続く。輸入合板は生型枠、ラワン構造用で玉

の逼迫感があり、円安の影響で更に値上げの方向。アイテム全体で先高観強い。先行き国産針葉樹合板は、需要旺盛が続く中で各社とも受注残が拡大しており、新規発注も加わり深刻な状況解消の目途は立たず。輸入合板は一部アイテムの玉不足状態は変わらず、価格は強気での推移が続く見通し。品薄品目は針葉樹合板の12mm、厚物、輸入生型枠、ラワン構造用合板9mm・12mm、薄物。

## 6. 構造用集成材

1-2月の入港は順調の見込み。QTR1ラミナ契約は€価で僅かに上昇。国産集成材の受注は年明け後も依然旺盛。販売・荷動きとも良好で受注残多く、RW梁桁の納期は1ヵ月以上、WW柱の品不足は若干落ち着く。販売先行きはビルダーの好調が続く中、1月末をピークに徐々に落ち着く見通し。在庫は生産より受注が多く極少。RW梁桁は受注残多く生産待ちの状態。価格はWW柱横這い、RW梁桁は今後ラミナ高で強含み。輸入集成材は現地船積みが安定せず納期遅れが慢性化。今後円安の影響で柱が100円、梁桁が4千円前後の値上げ見込み。欧州アカマツ集成梁の品薄が昨年から継続。全国のプレカット工場の稼働率は高い。

## 7. 木材チップ

チップ原木の入荷状況は、FITが越年在庫の積み増し多く、製紙は例年並みで順調。解体材は発生・入荷とも例年並み。消費は製紙用が針葉樹中心におおむね順調、燃料用はバイオマス発電が年末年始稼働。在庫は横這い若しくはやや増加。針葉樹チップ価格は横這い。輸入チップは為替レートの変動に伴い価格・運賃とも先行き不透明。国内チップ工場の操業状況は例年並みだが、現場作業員・運転手不足が慢性化。

## 8. 市売問屋

国産材の構造材はスギ柱角で玉不足のため販売は好調、ヒノキ柱・土台は動き軟調。造作材は建具用桤平割が動き良く、リフォーム用スギ・ヒノキ室内化粧用も堅調。外材の構造材は為替変動による先安観から比較的落ち着いた商況が続く。造作材はスプルー・米ヒバ良材の動き好調。年末から製品の入荷が細ったため、先行き懸念から多少在庫意欲が高まり比較的販売は好調。初売りで昨年末の好調な動きの継続が期待。

## 9. 小売

国産材の構造材はスギKD柱・小割・板、ヒノキKD柱・土台いずれも保合。外材はロシアアカマツタルキ保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合、タモ・ナラ平割保合。集成

材は WW、RW の柱・梁保合。合板は国産針葉樹、輸入品ともに強保合。プレカット工場は見積・加工とも引続き忙しく稼働、メーカーによっては上棟が 2 月に延長。工務店は新規見積り増加。

1月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↘	↘	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40上級	↗
			アカマツ(KD)16×40上級	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗